

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成27年10月15日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（18名）

委員長	清水正二君	副委員長	五味武彦君
	金丸幸司君		滝川美幸君
	金丸寛君		赤澤厚君
	小澤重則君		松井豊君
	斉藤芳夫君		米山昇君
	山本今朝雄君		長谷部集君
	三浦進吾君		内藤久歳君
	小浦宗光君		池神哲子君
	保坂芳子君		樋泉明広君

欠席委員（1名）

山本英俊君

傍聴議員（2名）

議長	有泉庸一郎君		藤原正夫君
----	--------	--	-------

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	武川訓	書記	山岡広司
書記	石原大助	書記	有野恵里

開会 午後 1時30分

○書記（山岡広司君） 改めてこんにちは。

きょうは決算審査特別委員会ということで、ご参集ご苦労さまです。

きょうの内容につきましては、平成28年度予算編成に向けての要望書ということで、各それぞれの常任委員会から何件か提出があります。その内容を決算審査特別委員会で審議をしていただき、最終的な結果を出して市のほうへ提出していきたいと思っておりますので、よろしくご審議をお願いします。

それでは、清水委員長より挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（清水正二君） 改めてこんにちは。

決算審査特別委員会出席ご苦労さまでございます。このところ、お天気のほうはちょっと続くようですけれども、何か陽気のほうが11月の下旬とかの陽気ということで、本当に朝は冷え込んでいるようでございます。夏、暖かいところから急に寒くなったということで、9月の長丁場の議会も終わったわけですけれども、皆様にはぜひ十分体調に留意していただきまして保っていただきたいと思います。

きょうは、28年度予算編成に向けて要望書ということでございますので、皆様の審議、ご協力をよろしくお願いたしまして、私の挨拶といたします。

○書記（山岡広司君） ありがとうございます。

続きまして、有泉議長より挨拶をいただきます。

○議長（有泉庸一郎君） どうもご苦労さまです。

今、委員長からもお話がありましたように、第3回定例会が終わったばかりですが、これからはいろいろ審議事項等も、臨時議会等もまた予定されているようですので、どうか体調は十分管理されて慎重な審議をよろしくお願ひしまして、挨拶にかえます。どうもご苦労さまです。

○書記（山岡広司君） ありがとうございます。

それでは、早速議事のほうへ入っていききたいと思います。

進行につきましては、清水委員長、よろしくをお願いします。

○委員長（清水正二君） それでは、始めたいと思います。

ただいまの出席委員は18名です。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別

委員会を開会いたします。

なお、山本英俊委員は欠席の連絡がありましたので、報告いたします。

○委員長（清水正二君） 本日の委員会は、平成28年度予算編成に向けての要望について、各常任委員会より報告されたものを決算審査特別委員会において協議を行いますので、よろしくお願いたします。

それでは、これより内容に入ります。

（1）平成28年度予算編成に向けての要望書については、10月7日に実施いたしました各常任委員会において取りまとめをしていただきました。

各常任委員会でまとめた要望書をお手元にお配りさせていただきました。総務教育常任委員長より順次ご報告をお願いし、最後にまとめて協議していきたいと思しますので、よろしくお願いたします。

それでは、三浦総務教育常任委員長より報告をお願いいたします。

三浦総務教育常任委員長。

○総務教育常任委員長（三浦進吾君） それでは、総務教育常任委員会からご報告をさせていただきます。

10月7日に実施いたしました総務教育常任委員会での審査結果、3件の要望をお願いしたいと思います。

それでは、順次要望書案に基づき説明させていただきます。

まず、1、公共施設の土地の賃借料等について説明いたします。

賃貸料については、毎年高額な金額を予算計上し、支払いをしている状況である。このまま賃貸料として支払いをしていくと莫大な支出となる。要望書のとおり4つの土地について順次買い取り等を踏まえ、方向性を検討し、予算の削減に努めてもらいたいことから、この件について今回要望することになりました。内容については、要望書の朗読をもってかえさせていただきます。

〔発言する者あり〕

○総務教育常任委員長（三浦進吾君） それでは、皆様のご要望でございますので、朗読のほうは省かせていただきます。

次に、玉幡公園総合屋内プール運営費について説明いたします。

この施設については、非常に多額な経費がかかっている。一般財源で5,690万円ほどの支出がございます。このような多額な一般財源を支出する施設については見直しを図っていくことが必要であるため、この件についても今回要望することになりました。内容については、要望書の内容のほうを見ていただいて、お願いしたいと思います。

次に、3つ目でございます。

竜王庁舎維持管理事業について説明いたします。

災害により、予備発電設備浸水が想定される中、竜王庁舎本館においては庁舎側の建物に、新館においては地下に設置されている。いつ豪雨により浸水するかわからない状況である。

このようなことから早期の対応が必要であるので、この件についても今回要望することになりました。内容については、概要書のとおりでございます。

以上、この要望以外に3件がございました。要望書が提出されましたが、本人より3件の取り下げの申請がございましたことを報告させていただきます。

以上、簡単ですが総務教育常任委員会より3件の要望書の説明をさせていただきました。

どうぞよろしくご審議をお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（清水正二君） 三浦総務教育常任委員長の説明が終わりました。

次に、小澤厚生環境常任委員長より報告をお願いいたします。

小澤厚生環境常任委員長。

○厚生環境常任委員長（小澤重則君） 厚生環境常任委員会より報告します。

10月7日に開催しました厚生環境常任委員会において、委員より3件の要望書の提出があり、協議の結果、そのうち2件について提出することに決定いたしました。

要望書ごとに順次ご報告いたします。

要望書の4、将来のごみ処理に関する研究、検討費用については、本市のごみ処理については中巨摩地区広域事務組合、峡北広域行政事務組合の2つの広域事務組合で行っている。各施設とも整備を進めており、市では、次の更新の15年先のタイミングに向けて検討するとしており、今から具体的な研究、検討を始めないと現状の繰り返しとなってしまうため、検討委員会など行政内に立ち上げ、各部署で横断的、また実効的な研究、検討をするために最大限に活動できる予算づけを要望するものであります。

委員の主な意見については、ごみ問題は将来的な視野に立って調査、研究することは必要

である。リサイクルなど減量化に向けて取り組んでいるものの、基本的に考え方を変換して一本化することは賛成であるなどの意見がありました。協議の結果、別紙要望書の4のとおり決定いたしました。

将来のごみ処理に関する研究、検討費用について、本市のごみ処理については中巨摩地区広域事務組合、峡北広域行政事務組合の2行政事務組合で行っている。将来の一本化を踏まえ、検討委員会などを行政内に立ち上げ、各部署が横断的、実効的に研究、検討をするための予算づけをすることという要望でございます。

次に、要望書の5、社会福祉協議会職員人件費補助金については、社会福祉協議会の職員は、数年勤めると条件のよいほかの事業所に移ってしまうなど、定着性がよくないと聞いている。待遇面でも公務員に近づけないと人材の確保が難しくなる。安定的に運営していくためには人材確保が必要であり、人件費の増額を要望するものであります。

委員の主な意見については、社協の人件費は1割から2割少ないと聞いている。ここ数年、係長クラスが退職しており、市職員と社協職員の人件費や待遇などの調査も必要である。人材確保は問題であり、福祉や高齢者などの業務は社協に頼る部分も大きいなどの意見がありました。

協議の結果、別紙要望の5のとおり決定いたしました。

なお、介護保険の負担軽減とサービス水準の維持については、協議の結果、提出委員により、もう少し事業の実態調査を行う必要があることから取り下げになりました。

また、委員より、今後の予算要望の出し方について意見がありました。

昨年度、予算要望して実現していない要望については、どの程度事業が進んでいるか検証が必要であり、継続して要望していくのか、取り扱いを明確にする必要があるとの意見がありました。

以上、報告を終わります。

○委員長（清水正二君） 小澤厚生環境常任委員長の報告が終わりました。

次に、赤澤建設経済常任委員長より報告をお願いいたします。

赤澤建設経済常任委員長。

○建設経済常任委員長（赤澤 厚君） 建設経済常任委員会より報告をいたします。

10月7日に行いました常任委員会において、常任委員会の意見の一致を見ました要望は2件でありました。

要望（案）ごとに順次報告をいたします。

まず、項目6番の下水道事業、下水道建設事業についてでございます。

初めに、要望（案）を朗読いたします。

下水道の整備は、全体面積1,776ヘクタールで進められているが、平成26年度末での整備率は、66.9%となっている。平成26年度の整備面積は31.52ヘクタールであった。甲斐市発足時は、年間約50ヘクタール整備されていたが、年々事業量が減少している。快適な住環境のために下水道は欠かすことができないものであるため、予算を確保し、整備の面積の拡大を図ることを要望するとの要望（案）でございました。

委員より意見がありまして、他の市よりも整備がおこなわれているのか、甲府市は99.5%が終了している。合併時はかなりの件数が整備されたが、近年、整備件数が激減しているとの意見が出され、要望するとの意見の一致を見ました。

次に、項目7番、イベント事業の見直しについてでございます。

各種イベントの検証及び事業の検討を行い、多大な事業の予算のコスト削減も含め、費用対効果のない事業の見直しを検討することとの要望（案）でございます。

常任委員会では、委員より、事業ごとの経費等の一覧はあるのか、イベントの中には経費のかからないものや商工会の事業もあるとの意見が出され、要望することと意見の一致を見ました。

以上、建設常任委員会からの2項目を要望（案）として報告をいたします。

以上です。

○委員長（清水正二君） 以上、3常任委員会の報告が終わりました。

それでは、事業ごとに質疑等をいただき、決定していきたいと思えます。

まず、お手元の資料の公共施設の土地の賃借料等について、質疑等がありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を打ち切ります。

それでは、公共施設の土地の賃借料等についてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、公共施設の土地の賃借料等については、別紙要望書のとおり提出することに決定いたしました。

次に、玉幡公園総合屋内プール運営費について、質疑等がありましたらお願いいたします。
ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、質疑なしといたします。

それでは、玉幡公園総合屋内プール運営費についてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、玉幡公園総合屋内プール運営費については、別紙要望書のとおり提出することに決定いたしました。

次に、竜王庁舎維持管理事業について、質疑等がありましたらお願いいたします。

米山委員。

○委員（米山 昇君） この要望書の最後の2行が、ちょっと竜王庁舎維持管理事業ということと違うんじゃないかと思います。また、川に近い双葉庁舎や敷島庁舎、22か所の指定避難場所等についてもできるだけ早い対応を求めるというのは、この22か所の指定避難場所の何を求める、発電機ですか。水没するからその発電機を高いところとか、そういうことを見直す必要があると。下の2行以外は竜王庁舎の維持管理事業ということでいいと思うんですけども、最後の2行がちょっとそのタイトルとも合わないし、何をどういう対応を求めるとかよくわからないと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（清水正二君） ただいま米山委員のほうから、3の竜王庁舎維持管理事業についての下から2行についてのこの意見について、その趣旨と外れているのではないかというご意見でございました。

保坂副議長。

○委員（保坂芳子君） 私のほうで出したものなのですが、最初はこの2行はなかったので、あとからつけ足したんですが、これ言っていることは、やはり竜王庁舎と同じで水没の危険がないか、この予備発電機がですね。これについてよく点検をして、ある場合にはやっぱり場所を変えてほしいということなんですけれども、ふさわしくなければ別に取って結構です、今回のあれから。

○委員長（清水正二君） 今、保坂副議長のほうから下の2行を削ってもいいんじゃないかというご意見がありました。表題とこの下の2行が、趣旨からいってちょっと文面が違うんで

はないかというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 双葉庁舎とか敷島庁舎も発電機はあるわけですか、非常用の。もしあって、水害の際に竜王庁舎と同じような危険があるのであれば、タイトルを竜王庁舎じゃなくて、庁舎等の維持管理とかにすれば、それも含めてですけれども。

それから、22か所の指定避難場所は、指定避難場所の何をこれは、だから指定避難場所も発電機が使えるようにということなのかどうなのか、ちょっとわからないですけれども。

○委員長（清水正二君） 今の双葉庁舎とこちらの発電機は、今ちょっと確認しております。22か所の指定避難場所等というところについては、やはり3番の表題からしまして、先ほど米山委員のほうからも出ましたけれども、庁舎等といきますとその分に入ってくると思うんですけれども、その辺いかがでしょう。

保坂副議長。

○委員（保坂芳子君） これを出したきっかけというのは、NHKの調査で、常総市での浸水で予備発電設備が使えなかったというようなことを受けて、多分国交省だと思うんですけれども、国交省とかNHKの番組でそういうのをやったあのときに、県内でそういう庁舎の自家発電が、浸水が1メートルか2メートルぐらいで危ないという庁舎を、甲斐市役所というのが、甲斐市が一番先に出ていたんですね。これはすぐにやらなきゃならないと、とりあえず幾らかかるかわからないので、とりあえずその中心の竜王庁舎が防災拠点だから、私はそのとき一番最初に出したのは、防災拠点の竜王庁舎の本庁舎と、それから新館を聞いたら地下にあるというので、ますます大丈夫かなという感じになっちゃったので、一応ここをということ、とりあえず28年度というふうに思ったんですけれども、欲張って書いたということです。すみません。

○委員長（清水正二君） 今回のところは、この22か所というところは見送ってということよろしいですか。

○委員（保坂芳子君） ええ、取って次の段階でいいかと思います。

○委員長（清水正二君） 内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 今、委員長の提案どおりでいいと思います。

○委員長（清水正二君） それでは、下の2行目の22か所の文面を省いて、表題の竜王庁舎というところを竜王を外して庁舎等……

〔「竜王庁舎等」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 竜王庁舎等、どうでしょう。竜王庁舎等か竜王を外して庁舎等……

〔「庁舎だったら等は要らない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） じゃ、三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 総務常任委員会で皆さんのご意見を伺った中では、この文言は双葉庁舎、敷島庁舎と22か所というのはなかったと思うんですよ。だから……

〔発言する者あり〕

○委員長（清水正二君） 総務のほうで確認しているんだから。

○委員（三浦進吾君） だから、なかったとほかの委員さんが知っていればあれだけれども、ちょっとその辺は定かじゃないから。

〔発言する者あり〕

○委員（三浦進吾君） いや、ないでしょう。だから、ないからちょっと私も今聞いたわけですから。

○委員長（清水正二君） 暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時52分

再開 午後 1時53分

○委員長（清水正二君） それでは、会議を再開いたします。

それでは、3番の竜王庁舎維持管理事業については、表題を竜王庁舎等……

〔「それは要らない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 等は要らない、下が入らないからね。すみません、じゃ、表題はそのまま下の2行を省くということで決定したいと思います。

石原書記。

○書記（石原大助君） 先ほどこの敷島庁舎と双葉庁舎のやつは削られるんですけども、予備発電設備はそれぞれあるそうなので、場所については、敷島庁舎は地下がないので、そのフラットな場所にあるんですけども、双葉庁舎は今管理のほうで確認をしているところです。地下にあるか1階にあるかちょっとわからないんですけども、また後ほど報告いたします。

以上です。

○委員長（清水正二君） ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を打ち切ります。

それでは、竜王庁舎維持管理事業についてお諮りをいたします。別紙要望書により下の2行を省略し、提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、竜王庁舎維持管理事業については、別紙要望書のとおり提出することに決定いたしました。

次に、将来のごみ処理に関する研究、検討費用について質疑等がありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 質疑を打ち切ります。

それでは、将来のごみ処理に関する研究、検討費用についてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、将来のごみ処理に関する研究、検討費用については、別紙要望書のとおり提出することに決定をいたしました。

次に、社会福祉協議会職員人件費補助金について、質疑等がありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を終了いたします。

それでは、社会福祉協議会職員人件費補助金についてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、社会福祉協議会職員人件費補助金については、別紙要望書のとおり提出することに決定をいたしました。

次に、下水道事業について、質疑等ありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を終了いたします。

それでは、下水道事業についてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、下水道事業については、別紙要望書のとおり提出することに決定いたしました。

次に、イベント事業の見直しについて、質疑等がありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を終了いたします。

それでは、イベント事業の見直しについてお諮りいたします。別紙要望書により提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、イベント事業の見直しについては、別紙要望書のとおり提出することに決定いたしました。

次に、資料1ページにあります前文について協議をお願いいたします。

事務局より朗読をいたしますので、お願いいたします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） それでは、要望書（案）の1ページを見ていただきたいと思います。

朗読をもって説明とさせていただきます。

甲斐市議会においては、昨年度に引き続き、決算審査特別委員会での審査を基に、「平成28年度予算編成に向けての要望書」を提出することとなりました。

平成26年度決算において、歳入では、地方交付税について、前年度と比較して3.5%の増となっていますが、今後5年間の経過措置である激減緩和期間を経て平成32年度には、合併後の状態である一本算定の額が交付されることとなり、約12億6,000万円の減額が予想されます。

また、歳出では、少子高齢化の進行により、経常的経費が2.7%増加し、人件費、扶助費、公債費等の増加により、財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれ、変化に対応した事業

の取捨選択と整理統合により、計画的な事業の推進が必要となっております。

決算審査特別委員会では、決算審査等で出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致をみました7事業について、要望をさせていただくことといたしました。

については、本要望等を参考にいただき、見直すべきものは見直し、より効果的な新年度予算編成に取り組まれることを願うものであります。

甲斐市議会、決算審査特別委員会。

委員長、清水正二。

以上となります。

○委員長（清水正二君） 前文について質疑等がありましたらお願いいたします。

滝川委員。

○委員（滝川美幸君） 「また、歳出では、少子高齢化の進行により」のところのその3行くらいなんですけれども、これ「より」「より」が続いてしまっているの、文章がちょっとまとまらなくなっているのではないかと思いますので、ちょっと変えたほうがいいかなと思います。

○委員長（清水正二君） ただいま滝川委員のほうから、歳出のところの「少子高齢化の進行により」から「公債費等の増加により」と、この「より」が2つ続くということかどうかという意見がありましたが、いかがでしょうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そのところをもしそうであれば、「進行により」ではなく、「進む中」とやれば、あと下の「より」はそのまま、「進行により」を進む中とやればいいんじゃないですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ただいま内藤委員のほうから、歳出の2行目の上のほうの「高齢化の進む中」という意見がございましたが、この形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ほかに質疑ございますか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 3100番ですけれども……

〔発言する者あり〕

○委員長（清水正二君） すみません、池神委員、今1番をやっています。この要望書の2枚目の前文をやっております。

ほかに質疑ございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 文面ではありませんけれども、甲斐市議会の決算特別委員会の委員長名で出すということと、議長の名前はこの前も出していなかったっけ、前回。

〔「入っていない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 前は入っていないそうです。

○委員（樋泉明広君） 入ってなくていいということですね。

○委員長（清水正二君） 決算委員会として要望書を出すという形にはなっておりますけれども、前は。私が答えていいのかな。

〔発言する者あり〕

○委員長（清水正二君） 山岡係長。

○書記（山岡広司君） 前回はやはりこの話が出まして、検討した結果、委員長名1人ということになりましたので、今回もそのような形で案を出させていただきました。

○委員長（清水正二君） どうでしょう。今、樋泉委員のほうから議長連名でどうかという話がありましたけれども、いかがでしょうか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 前回は委員長名だけでして、今回もその決算委員会のまとめということで委員長名でいいと思います。ただ、前回は副委員長とそれから議長さんには一緒に渡すときには来ていただいております。

○委員長（清水正二君） ただいま、前決算委員長の米山委員のほうから提案がありました。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ほかに質疑ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） なければ、質疑を打ち切り、質疑を終了いたします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） すみません。1点訂正となりますけれども、お願いしたいんですが、事業項目の6番、下水道事業についてと書いてありますけれども、上がってきた項目が下水

道建設事業についてということですので、ここに建設を入れさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

以上です。

○委員長（清水正二君） ただいま事務局のほうから6番、下水事業についての表題を下水道建設事業についての訂正がありました。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そこは建設じゃなくて整備のほうがいいんじゃないの、建設というよりは。

○委員長（清水正二君） 提出者の意見ということで米山委員、いかがでしょう。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 事業名ということだったから下水道建設事業とこう書いてありますが、事業内容は下水道の整備についてということですので、下水道推進でも整備についてでも何でもいいと思いますが。

○委員長（清水正二君） それでは、要望書の表題ですので、内藤委員の言われるように下水道整備事業についてという形で表題を訂正してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにいたします。

それでは、もとに戻します。前文についての質疑を終了いたします。

それでは、前文についてお諮りをいたします。ただいまご意見がありました訂正箇所を訂正して、別紙要望書の内容で提出したいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） ご異議なしと認めます。

よって、前文については、別紙要望書のとおり決定をいたしました。

要望書提出については委員長一任でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） それでは、そのようにさせていただきます。

次に、厚生環境常任委員会からご意見があった、昨年度、予算要望をして実現していない要望について、今後どのような扱いをしていったらよいかお伺いいたします。皆様のご意見を伺います。前段、厚生常任委員長のほうから、昨年度、決算委員会で要望した要望事項の中で実現されていないものをどのように対応していくかという内容でございます。

五味副委員長。

○委員（五味武彦君） 私の意見だったんですけども、確かに去年も予算要望をしたと。ただ、その中で1つ、2つは実現されたけれども、ほかのものはどうなったのかということをもまず検証する機会があつていいんじゃないかという形です。それをこういう席でやるのか、また少したつたときにやるのかということをちょっと相談させていただきたかったなという形でございます。何しろやったものはいいんです。評価しなきゃいけない。でも、やらないものはどういう状況なのか、当局はどう考えているかという部分もやっぱり返答していただきたい部分もあるかなという意味合いで意見を出しましたけれども。

以上です。

○委員長（清水正二君） いかがでしょうか。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 私も、ほかの委員会からも当然こういう話は出ているんだろうと思っただけけれども、この報告書を見ると、よその委員会はそういう案が出なかったということ。ということは、要望だけ幾らでもどんどん出していくということになっていっちゃうと、やっぱり出すだけで意味がないという話になっちゃうと、これ自体の、こういう決算審査特別委員会で、次の予算にあれを反映してほしい、その次にはこういうものというふうに考えているものを、ただ出すだけで議会が仕事終わっちゃうみたいな形になっちゃうのは非常に残念だと思うので、ぜひとも一遍出したものについての検証は必要だと、私は思います。

○委員長（清水正二君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 去年の今ごろ、ちょうど前年度の決算をした中で、平成27年度の予算要望という形で出したわけですね。それが予算の中にどのように反映されているかということは、この間の予算委員会の中でそれぞれ聞いたり、当局の考え方というものをただしたりしたわけです。当然予算措置されているものはあつたり、全くゼロ回答というか、全然その項目に対しては予算的な措置はされていないというものもありましたけれども、かなり予算委員会の中でそういう問題も含めて、特に自分が出した方は中心になってその問題を聞いたと思うんですよ。

ですから、一度に出したから次の年に必ず実現するというものでもないし、当局のほうでも検討した中で、できるものだけに対応したと、こういうことだと思いますので、あえてこれをどうしてやらないんだというようなことでやっていっても、やっぱり予算審議とかそういう中でただしていく以外に、あるいは常任委員会の中でまたそういう検討するというか、

発言して当局の考えを聞くという場もありますので、そういうときに聞いていくという形のほうがいいんじゃないかなと私は思いますけれども、1人の意見です。

○委員長（清水正二君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） この決算審査で、来年度の編成に要望していくということ自体が、一昨年でしたか、議会改革特別委員会の中で決定をして、それを答申して今こういう形で2年目を迎えているということもありますので、もし皆さんのご賛同をいただけるようであれば、先ほどから出ている話については、一度議会改革のほうで受けさせていただいて、そこで話をもんで、また皆さんにその発表をしていくという流れにしていきたいと思いたすけれども、いかがでしょうか。

○委員長（清水正二君） ただいま長谷部議会改革特別委員長の意見がございましたけれども、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） よろしいですか。私もこの要望書のときにお話をいたしましたけれども、実現可能なものに向けてできるだけ絞り込んでというふうなお話をさせていただきました。そういった中で、今の長谷部議会改革特別委員会委員長の提案ですけれども、そのような形でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） はい。それでは、そのようにいたします。

次に、その他に入ります。

議長よりありましたらお願いいたします。

有泉議長。

○議長（有泉庸一郎君） 今の話なんですけれども、この要望事項について長谷部委員が言ったように、最初は議会改革のほうから話が出たんですが、先ほど米山委員のほうからも発言がありましたように、委員会という発言がありましたけれども、こういう問題に関しては、これは議会として取りまとめて要望しているわけですが、そもそもは一議員がここで提案したものを皆さんに審議してもらって要望しているわけですね。

そういう意味で、やっぱり検証と言われましたけれども、その検証をするためには議会活動を活発にするためにもやっぱり一般質問で取り上げてもらいたいんですよ、こういうものはできるだけ。そうすると議会本会議も一般質問なんかも活発になると思うんです、一応こういう要望していますので。検証という意味合いからいけば、そんなようなことも考えても

らいたいなと思いました。よろしくお願いします。

○委員長（清水正二君） ただいま有泉議長のほうからお話がありましたけれども、やはり出して出しっ放しということではなくて、議員活動としてやはり一般質問、そういった形。あとはまた委員会のほうでそういった質疑をやはり続けていくというふうな形が望ましいと、委員としても望ましいのではないかというふうに私も思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

次に、委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 次に、事務局よりありましたらお願いいたします。

山岡係長。

○書記（山岡広司君） それでは、このあと終わりましたら全員協議会を行いたいと思いますので、また席のほうが変わりますので、一回すみませんが出ていただきまして、2時半に全員協議会をやりたいと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（清水正二君） 石原書記。

○書記（石原大助君） すみません、先ほどの予備発電の件なんですけれども、双葉庁舎につきましては、庁舎の外の中庭にあるそうです。敷島庁舎についても庁舎の外の中庭にあるそうなので、よろしくお願いいたします。

○委員長（清水正二君） ほか、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（清水正二君） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時17分